

令和8年度 学校経営計画

おおさわ学園三鷹市立第七中学校 校長 青木 睦

【おおさわ学園教育目標】 地域を愛し、自らの夢に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい、国際色豊かな児童・生徒を育成する。

【めざす学園生像】 ○学び続ける人 ○心身ともにたくましい人 ○心豊かで共に生きる人

【第七中学校教育目標】 学習指導要領の趣旨及び学園の教育目標を踏まえ、生徒の人間としての調和のとれた育成を目指し、『時代を担う人間の育成をめざす』を核として、次の教育目標を定め、実践する。

○よく考え進んで学ぶ生徒 ○自ら心と体を鍛える生徒

○よく協力し他を思いやる生徒 ○地域に進んで奉仕する生徒

三鷹市教育ビジョン
「人間力・社会力の育成」

三鷹の「目指す子ども像」

個人と社会のウェルビーイング、自らの幸な人生とより良い社会の創造に向かって、主体的に「人間力」「社会力」を発揮できる子どもたちを育成することを目的とする。

大人（保護者や教員も）
幸福感ある職場づくり

目指す学校像

●一人ひとりの生徒を大切にできる学校

○生徒に求められる資質や能力を確実に身に付けさせる学校

○社会の一員としての役割を果たし地域とともに創る学校

目指す生徒像（8年度）

○自ら考え、行動し、

自ら未来を切り拓いてく生徒

○失敗を恐れず、積極的に

チャレンジしていく生徒

昨年度までの成果と課題

<成果>

- ◎不登校支援
- ◎生徒指導
- ◎部活動の存続
- ◎教育支援
- ◎授業改善（学力支援）
- ◎生徒・保護者との信頼関係
- ◎生徒主体の取り組み
- ◎学園研究
- <継続課題>
- ◎生徒主体の取り組み
- 学園交流活動
- ◎生徒指導力の向上
- ◎魅力ある授業の展開
- ◎家庭学習の定着
- ◎不登校対応
- ◎部活動の存続
- ◎服務規律
- ◎働き方

学園基本方針

(1) 人権尊重教育の推進（言葉づかい）

(2) 学園研究

(3) 基本的生活習慣、規範意識の定着

(4) 校内の安全管理の徹底

(5) **小・中一貫カリキュラムに基づいた学力の定着**

(6) 教育支援に基づく生徒指導

具体的な計画

<知・体>

- 基礎学力の定着
- ①復習による基礎学力の定着
- ②体力向上
- ③個別最適化された学習
- ④テスト前学習教室の実施
- 家庭学習の定着
- ①家庭学習の定着化
- ②個別最適化された学習
- 授業改善
- ①ねらいの明確化
- ②わかる授業・楽しい授業の展開
- ③デジタル・シティズンシップ
- ④生徒主体的な授業展開
- ⑤思考力を高める授業展開
- ⑥評価・評定の検討
- ⑦UDを考慮した授業改善
- ⑧**評定・評価の説明責任**
- ⑨外部人材の活用
- 部活動
- ①部活を通じた人格形成
- ②地域クラブとの連携
- 体育的行事の充実
- ①**体育祭**
- ②**校内マラソン大会**
- オリンピック教育
- ①レガシーとしてのオリパラ
- 修学旅行先の変更**

<徳>

- 生き方に関わる指導
- ①地域行事への参加
- ②教員の人権感覚を高める
- ③**防災教育（ボランティア参加）**
- 交流による人間関係の構築
- ①児童会・生徒会
- ②**学園交流によるふれあい**
- ③小学校ボランティア
- 豊かな心の育成
- ①行事を通じた心の指導
- ②道徳の授業改善
- ③地域との触れ合い
- ④**行事等を通じた感動体験**
- 生活指導の充実と徹底
- ①教育支援に基づく生徒指導
- ②QUによる学級経営の把握
- ③事故等の報告と迅速な対応
- ④いじめの未然防止と迅速な対応
- ⑤**「いちごあじ」の徹底**
(児童会・生徒会でできる票)
- ⑥部活動（共感体験）
- ⑦新たな不登校の防止
- 教育支援の充実
- ①教育相談の充実（SC連携）
- ②外部機関との連携（子家セン）
- SDGsの推進
- ①持続可能な社会づくり

<組織・外部>

- 保護者・地域との連携の強化
- ①ボランティア参加の呼びかけ
- ②**CS、PTAとの連携**
- ③**CSと教員の熟議**
- ④地域未来塾の充実
- 9年間の一貫教育の推進
- ①プレ講座（小6授業体験）
- ②中学見学（小5見学）
- ③カリキュラムの改訂
- ④相互乗り入れ授業の充実
- ⑤教職員の共通理解・共通実践
- ⑥あいさつ運動
- 学校経営に関する計画
- ①学校事故防止
- ②報告・連絡・相談の徹底
- ③若手教員研修の充実（OJT）
- ④**服務規律**
- <体罰・わいせつ・会計事故・出退勤管理>
- ⑤**組織対応（報連相）**
- ⑥働き方改革の推進
- 教員研修
- ①学園研究
- ②教育支援の研修
- ③評価・評定の精度向上
- ④**学級経営（QUの活用）**

令和8年度 第七中学校経営方針 重点（自己申告用）

| | |
|--|---|
| <p>学 習 指 導</p> | <p>1、学力の向上 ■非認知能力の育成（テストで測れないもの） 忍耐力、自制心、回復力、意欲、自信、コミュニケーション力、共感、協調性、社交性等の育成 ■基礎学力の向上・個別最適化された学習（二極化への対応） ■小・中一貫カリキュラム ■評価・評定の精度向上（説明責任） ■主体的な学び・対話的な学び・深い学びによる思考力の育成 ■タブレットを活用した効果的な指導・デジタル・シティズンシップ教育 ■情操教育（合唱コンクール・作品展示・日本の伝統文化） ■未来塾の積極的な活用（テスト前の学習教室） ■R10年度修学旅行（北海道方面実施） 2、体力の向上 ■マラソン大会に向けた取り組み ■保健体育・部活動を通して基礎体力向上を図る ■体育的行事の取り組み（体育祭・マラソン大会） 3、道徳教育の推進 ■道徳の授業を通して生徒と教員の信頼関係構築・学級経営の手段として活用 ■ボランティア体験の推進（小・中ふれあい体験、地域ボランティアの参加） ■命の授業（助産師による講和）・ガン教育・薬物乱用防止教室</p> |
| <p>生 活 指 導 ・ 進 路 指 導</p> | <p>1、教育支援に基づく生活指導 ■CS・PTAとの定期的な会合（学校校公開午後設定） ■生徒に寄り添った指導（生徒や保護者からの相談は真摯に受け止め信頼関係の構築） ■いじめの早期発見・早期対応・早期解消 ■情報の共有（報告・連絡・相談の徹底：担任⇒学年主任⇒生活指導主任⇒副校長⇒校長） ■教育相談の充実（QU等の実施により子どもの困り感を解消⇒学年で共有） ■ソーシャル・スキル・トレーニングの導入（アンガー・マネージメント等の実施） ■いちごあじ（いつも身の回りを綺麗に・ちゃんとした言葉遣い・五分前の行動・挨拶しよう・自分の持ち物を忘れない）の徹底（児童会・生徒会でR7年度に策定したおおさわ学園の生活標語） ■生活指導情報の交換（報告の徹底） ■生徒会による生徒主体による「生活のきまり」見直し ■不登校対応（サポートルームを活用し、登校できる環境を整える。） 2、進路指導 ■3年生による受験体験講話3月（1・2年生に向けて） ■修学旅行に向けた日本の伝統文化（茶道体験） ■R10年度北海道方面の修学旅行（人権・防災・自然科学・スポーツ等をテーマに学習） ■職場体験（2年生）・職業人の話を聞く会（1年生） ■ガン教育・薬物乱用防止教室</p> |
| <p>学 校 運 営 ・ 経 営 ・ そ の 他</p> | <p>1、小・中一貫教育推進 ■小6プレ講座・小6部活動見学・小5中学見学（生徒会による七中紹介） ■小・中相互乗り入れ（英語・保健体育）・教育支援COの定期的な情報交換の実施 ■交流学习（ふれあい体験・部活見学・あいさつ運動） ■児童会・生徒会代表者会の実施（学園の共通課題を解決、デジタル・シティズンシップ等） 2、コミュニティ・スクールの推進 ■CS委員との連携（CSとの合同熟議） 3、地域との連携（未来を担う地域人財としての中学生） ■防災訓練等の地域行事等へのボランティア参加（救急救命講習会と仮設トイレの設置訓練） ■職場体験（2年）や職業人の話を聞く会（1年）への協力依頼 ■英検・漢検実施と協力（ICU大学生による2次試験対策） 4、その他 ■部活動の充実（健全育成のため協力を） ■生徒主体の行事（感動体験・人間関係の醸成） ■学校事故防止（生徒の命を預かっている意識） ■校務改善・働き方改革（水曜日定時退庁日・夏季休業中に平日5日間の閉庁日・時間内会議） ■服務規律の徹底（体罰、暴言・わいせつ・会計事故・出退勤管理・信用失墜行為の禁止） ■カリキュラムマネジメント（意図的・計画的に教育課程を実施し改善する） ■校内研修①学級運営（学級経営案・QU）、②教育支援、③教育相談（教育支援に基づく生徒指導） ■学園研・鷹教研の参加による授業力の向上 ■OJTの推進（若手教員の育成：OJTシートの活用） ■予算の計画的な執行・私費教材の適切な執行 ■STEAM教育の視点</p> |